

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

世帯と人口

5月1日現在・()内対前月比

世帯 46,678 (+240)

人口 122,763人 (+344)

男 62,486人 (+189)

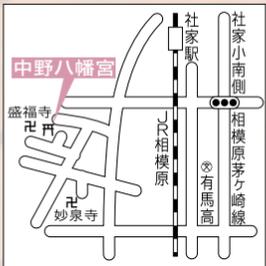
女 60,277人 (+155)

広報 えびな



伝える想い繋がる歴史

えびな模様



中野八幡宮本殿は、例祭などの特別な祭礼日以外は自由に拝観できません。

再中野八幡宮本殿を市重要文化財に

市教育委員会では、中野八幡宮(中野2)本殿を、5月18日付けで重要文化財に指定しました。旧中野村の鎮守として、古くから地域に愛されてきた八幡宮。創建年代は未詳ですが、納められている棟札から室町時代後期にさかのぼる古社であることが判明しています。重要文化財に指定された本殿は、享保年間(1725年ごろ)に建てられたものと推定されています。建て替えられたばかりの覆屋(本殿を納める建物)に納められ、間口約1・5メートルと小規模ですが「竹と梅に鶯」「猿」など、意匠を凝らした彫刻装飾が多用された貴重な遺構で、保存状態も良好なことから今回の指定となりました。

村の鎮守

「八幡さまは、村の鎮守。いつでも自分や地域を見守っていてくれる」と話すのは、市川惣一郎さん(中野在住・56才・上写真⑤)。中野八幡宮の氏子総代である宮長を、この4月末まで務めました。戦時下、出征する中野の兵隊さんたちは、必ず八幡宮に参詣してから戦地へ赴いたそうです。

課後の学生たちが自転車で乗りつけ、将来について語りあったり…。地域の憩いの場である境内は、中野栄寿会(地区老人会)のみなさんの手により毎月2回、清掃が行われているそうです。八幡さまを、氏子たちが力を合わせて守る…。祖母の代、それ以前から続く地域のしきたりを「いつもみんなを見守っていてくれ

た。市川さんの後を引き継いだ現宮長の清水幸一さん(中野在住・56才・上写真④)は、文化財指定された本殿を説明しながら「恒例の大祭(元旦祭・祈年祭・例祭・新嘗祭)も盛況ですよ」と微笑む。ご神体の將軍地藏騎馬像(像高約20センチ)が開帳される例祭は、毎年4月中旬に開催。今年も参道に出店が軒を連ね、境内は夜まで歌謡コンサートなどのプログラムでにぎわいを見せました。

地域で守る

中野八幡宮には、今でも多くの人が集まっています。世間話に興じるお母さんたちの周りを小さい子どもたちが駆けまわったり、放

八幡さまのご神木・大銀杏

樹齢約800年と推定されている大銀杏は「古銀杏傾き芽吹く中野八幡」と海老名郷土カルタにも読まれる八幡宮の象徴です。昔は、わんぱく小僧たちがよじ登り、例祭には祭櫓の足場に使われてい



た巨木も、昭和40年の伊勢湾台風で倒壊、一部を残し枯れてしまいました。平成8年、樹木医により保存治療が施され、現在は、樹勢回復が期待されています。